
おかしなセカイノモノガタリ。

萌乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おかしなセカイノモノガタリ。

【Nコード】

N0787I

【作者名】

萌乃

【あらすじ】

注：オチが最低です！真面目な気持ちで読み進めると途中で失望されるのではないでしょうか…。苦情は受け付けかねますのでっ！

おかしなセカイノモノガタリ。

「アナタ八何処ヘイクノ？」

「私はずっとここに居る」

白い部屋。そこでキコエル 2つの声？

「如何して外にデナイノ？」

「外の世界は広すぎるの そう、思っていますよ？」

「ソフィ」

「知らない。外の世界なんて」

部屋の隅に座り込んでいるのは　うさみみ帽子のオトコノコ。

そう、コレハ2人とぬいぐるみのおかしなモノガタリ。

:

「と、いう小説を考えてみたのですがっ！！！」

眼鏡をかけた男の子が叫んだ。

「あ、そ」

「ちょ！あ、そ　はないでしょ?!僕だつて頑張つたんだからな
」!

なんと、理不尽な、とメガネ男子は嘆いた。

「　あー、もう五月蠅いつ。で?どうして欲しいの」

「　酷い!もともと僕に小説を書けつて言ったの先輩じゃないで
すかあ!」

その、つすごつくウザい感じの男子は涙ぐんだ。

「…そうだったかしら。あ、乙」

「……おかしい！！…こんな世界ってないよっ！」

そう、これはおかしな（理不尽な）セカイノモノガタリ。

：

「ふう。仕方ないわね」

「ふえ？ 先輩……？」

ガさゴそ

ガさゴそ

いきなり先輩は自分のカバンを探り出した。

「……………」

「はい」

ふふっ、つとにこやかに先輩は微笑んだ。

「！先輩……………」

沈黙

「（ふっ…私ったらホントいい先輩…………）」

「あ、あの先輩。これ」

あれ？おかしいな！。涙なんて…ぐすつ。

「？ う〇い棒がどうかした？あら、あなた…そんなにうれしかったのね」

「うう…うわぁあああ。もお、もう僕帰るっ！…！」

「？もお帰るの？ばいばい」

:

そう、これはおかしな（お菓子な）モノガタリ。

駄洒落かつ！！！！

* 終わり *

(後書き)

すいません。

もお、言葉がありません；

(投稿しようとしたら失敗したし……)

そおか、まあ才子最低だしなwww

ああ、せっかく書いたのに消えるなんてっ……グスン。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0787i/>

おかしなセカイノモノガタリ。

2010年12月28日02時24分発行